

令和7年3月31日

佐賀県立図書館

担当者 成清、松田、美濃部

内線 3713 直通 0952-24-2900

E-mail: toshokan@pref.saga.lg.jp

こもんじょ  
令和7年度古文書講座の受講者を募集します

佐賀県立図書館では、県民の皆さんに古文書を読み解き、活用していただくことを目的として、毎年度古文書講座を開催しています。

令和7年度の古文書講座は、古文書をテキストとして読み進める「応用編」（1コース）と、受講者自らテキストを解説していく「実践編」（2コース）を当館内の会場で開催し、下記により受講者を募集いたします。

記

1 講座概要

(1)開催期間 令和7年6月から令和8年2月まで

(2)開催する講座

①応用編

テーマ：「<sup>こうじろ</sup>神代鍋島家資料の<sup>えどおこし</sup>江戸御越日記を読む」

講師：<sup>いとうあきひろ</sup>伊藤昭弘氏（佐賀大学地域学歴史文化研究センター長／教授）

内容：昨年度に引き続き、神代鍋島家の家臣の記録であり、「文政七年の政変」を紐解く上で貴重な史料である「江戸御越日記」（佐賀県立佐賀城本丸歴史館所蔵）を読み解きます。

②実践編コース1

テーマ：「<sup>からつはんふなてこがしら</sup>唐津藩船手小頭 <sup>まつしたとくべえ</sup>松下得兵衛の日記を読む」

講師：<sup>いとうしょうこ</sup>伊藤彰子氏（久留米大学非常勤講師）

内容：講師が解説文の書き方や読み方を丁寧に教えてくれます。参加者が各回で分担して1人1ページずつ解説文を作り輪読します。

③実践編コース2

テーマ：「自主勉強会応援講座」

講師：<sup>おおひらなおこ</sup>大平直子氏（佐賀市役所 地域振興部 文化財課）

内容：自主勉強会でどうしても読めない字や意味がわからない部分はありますか。講師と参加者が一緒に考え、答えを探ります。

※定員及び受講対象者等の詳しい情報については、別添の「講座一覧表」を御参照ください。

## 2 申込み

(1) 申込み期間 令和7年4月14日(月曜日)～令和7年4月21日(月曜日)

(2) 申込み条件 各講座の「対象」に該当し、すべての回を受講できる方

(3) 申込み方法

申込書(別紙参加申込書参照)に必要事項を記入の上、当館2階の総合カウンターへ御提出いただくか、郵送、FAX、もしくはウェブフォームで申し込んでください。

(4) 申込先

佐賀県立図書館 郷土資料 調査・編さん課(古文書講座担当)

〒840-0041 佐賀市城内2丁目1番41号 FAX:0952-25-7049

< 申込みウェブフォーム >

① 応用編

URL: <https://logoform.jp/form/jbBd/866269>



② 実践編

URL: <https://logoform.jp/form/jbBd/866281>



※窓口提出の場合は令和7年4月21日(月曜日)の20時までに持参ください。

※郵送の場合は令和7年4月21日(月曜日)の消印まで有効です。

※FAX及びウェブフォームの場合は令和7年4月21日(月曜日)23時59分までです

※応用編と実践編は重複して申し込むことができます。

※実践編はいずれか1コースを選んで申し込んでください。

※応募者多数の場合は県内在住の方を優先とし、抽選を行います。

※申込みの際にお預かりした個人情報は、古文書講座運営のためにのみ使用します。

<講座の申込書について>

申込書は県立図書館2階の郷土資料室に準備しています。また、県立図書館ホームページ及び県庁ホームページからダウンロードすることもできます。

○県立図書館ホームページ（トップ>お知らせ）

（<https://www.tosyo-saga.jp/>）



3 受講可否の通知

応募者全員に対し、令和7年5月15日（木曜日）までに、電子メールまたは郵送によりお知らせします。

(別添)

## 講座一覧表

	応用編	実践編コース1	実践編コース2
対象	基本的に県内在住または県内に通勤・通学をしている方で、当館の古文書講座などで古文書の読解を学んだ経験がある方。	基本的に県内在住または県内に通勤・通学をしている方で、当館の古文書講座応用編を受講したことのある方。	基本的に県内在住または県内に通勤・通学をしている方で、実践編の受講経験者を含む会員2名以上の自主勉強会。
講師	伊藤昭弘 氏 (佐賀大学地域学歴史文化研究センター長/教授)	伊藤彰子 氏 (久留米大学非常勤講師)	大平直子 氏 (佐賀市役所 地域振興部 文化財課)
内容	古文書をテキストとして読み進めながら歴史的背景等を理解する	勉強会形式で史料を輪読 受講者が分担して解説文を作成する	史料の解読作業中に発生する疑問点を講師とともに検討し解決を目指す
開催方法	会場(対面)で実施	会場(対面)で実施	会場(対面)で実施
回数及び実施日時	全9回予定 6月7日から令和8年2月7日までの第1土曜日(適宜休講あり)、午前10時から11時30分まで	全9回予定 6月21日から令和8年2月21日までの第3土曜日(適宜休講あり)、午前10時から11時30分まで	全9回予定 6月28日から令和8年2月28日までの第4土曜日(適宜休講あり)、午前10時から11時30分まで
定員	26名	15名	4グループ(※)
申込み方法	ウェブフォームもしくは参加申込書を持参・郵送・ファックスで提出	ウェブフォームもしくは参加申込書を持参・郵送・ファックスで提出	ウェブフォームもしくは参加申込書を持参・郵送・ファックスで提出

(※) 当日の参加人数は最大12名として各会で出席者を調整。

# 古文書講座

応用編・実践編の受講者を募集します

**応用編** こうじろ なべしまけ えど おこし 「神代鍋島家資料の江戸御越日記を読む」(全9回予定・定員26名)

1. 対象(以下の①と②いずれにも該当する方)

- ①基本的に県内在住または県内に通勤・通学をしている方
- ②当館の古文書講座など、古文書の読解を学んだ経験のある方

2. 開催日時

6月から翌年2月までの第1土曜日 10時～11時30分  
※都合により休講する場合があります。

3. 講座の内容

講師:伊藤 昭弘氏 (佐賀大学地域学歴史文化研究センター長/教授)

内容:昨年度に引き続き、神代鍋島家の家臣の記録であり、「文政七年の政変」を紐解く上で貴重な史料である、「江戸御越日記」(佐賀県立佐賀城本丸歴史館所蔵)を読み解きます。

## 実践編

**コース1** からつはん ふなて こがしら まつしたとくべえ 「唐津藩船手小頭 松下得兵衛の日記を読む」(全9回予定・定員15名)

1. 対象(以下の①と②いずれにも該当する方)

- ①基本的に県内在住または県内に通勤・通学をしている方
- ②当館の古文書講座応用編を受講した方

2. 開催日時

6月から翌年2月までの第3土曜日 10時～11時30分  
※都合により休講する場合があります。

3. 講座の内容

講師:伊藤 彰子氏 (久留米大学非常勤講師)

内容:講師が解説文の書き方や読み方を丁寧に教えてくれます。

参加者が各回で分担して1人1ページずつ解説文を作り輪読します。

**コース2** 「自主勉強会応援講座」(全9回予定・定員4グループ)

1. 対象(以下の①と②いずれにも該当する方)

- ①基本的に県内在住または県内に通勤・通学をしている方
- ②当館の古文書講座実践編の受講経験者を含む自主勉強会(会員2名以上)

2. 開催日時

6月から翌年2月までの第4土曜日 10時～11時30分  
※都合により休講する場合があります。

3. 講座の内容

講師:大平 直子氏 (佐賀市役所 地域振興部 文化財課)

内容:自主勉強会でどうしても読めない字や意味がわからない部分はありませんか?  
講師と参加者が一緒に考え、答えを探ります。

## 会場

佐賀県立図書館 会議室

## 受講料

無料

## 申込方法

ウェブフォーム、持参、郵送、FAXで受け付けます。

持参:裏面の参加申込書を図書館2階カウンターへお持ちください。

郵送:〒840-0041 佐賀市城内2丁目1番41号 佐賀県立図書館  
古文書講座担当 宛

FAX:0952-25-7049

ウェブフォーム:下記URLもしくはQRコードからお申込みください。

※入力された個人情報は、古文書講座運営のためのみに使用します。

### 応用編はこちら

<http://logoform.jp/from/jbBd/866269>



### 実践編はこちら

<http://logoform.jp/from/jbBd/866281>



## 申込期間

4月14日(月)~21日(月)

※窓口持参…21日の20時までに持参ください。

郵送…21日の消印まで有効です。

FAX及びウェブフォーム…21日23時59分までに申込みください。

※結果は5月15日(木)までにメールまたは郵送でお知らせします。

## 注意事項

- ・応募者多数の場合は県内在住の方を優先とし、抽選を行います。
- ・応用編と実践編は重複して申し込むことができます。
- ・実践編はいずれか1つのコースのみ受講可能です。(重複して申し込むことはできません。)
- ・古文書講座の初級編及び中級編は、現在実施しておりません。当館ホームページにて、“くすくすくんのWeb版古文書入門”を公開しておりますので、学習にお役立てください。

## 問合せ先

佐賀県立図書館 郷土資料調査・編さん課  
古文書講座担当

TEL:0952-24-2900

メール:saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp

## 応用編 参加申込書

氏名	(ふりがな)
連絡先	<p>*郵便物が確実に届く御住所と、日中連絡がとれる電話番号をお願いします。</p> <p>郵便番号 〒 _____</p> <p>住所 _____</p> <p>*県外在住の方は、現在の勤務先や在学している学校名をご記入ください。</p> <p>所属 _____</p> <p>電話番号</p> <p>自宅: _____ 携帯: _____</p>
受講歴	<p>応用編コースは</p> <p>1 今回初めて受講                      2 受講したことがある</p>

※御記入いただいた個人情報は古文書講座運営のためのみに使用します。

### 問合せ先

佐賀県立図書館 郷土資料調査・編さん課 (古文書講座担当)

TEL:0952-24-2900(17時まで)

メール:saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp

## 実践編コース 1 参加申込書

氏名	(ふりがな)
連絡先	<p>*郵便物が確実に届く御住所と、日中連絡がとれる電話番号をお願いします。</p> <p>郵便番号 〒            -</p> <p>住所 _____</p> <p>*県外在住の方は、現在の勤務先や在学している学校名をご記入ください。</p> <p>所属 _____</p> <p>電話番号</p> <p>  自宅: _____                      携帯: _____</p>
受講歴	<p>実践編コースは</p> <p>1 今回初めて受講                      2 受講したことがある</p>

## 実践編コース 2 参加申込書

勉強会の名称	例:「〇〇会」など仮の名称で結構です。
代表者の連絡先	<p>*郵便物が確実に届く御住所と、日中連絡がとれる電話番号をお願いします。</p> <p>郵便番号 〒            -</p> <p>住所 _____</p> <p>*県外在住の方は、現在の勤務先や在学している学校名をご記入ください。</p> <p>所属 _____</p> <p>電話番号</p> <p>  自宅: _____                      携帯: _____</p>
会について	<p>会員 _____ 名</p> <p>解読している史料名 (例:「佐賀紀聞」)</p> <p>_____</p>

※御記入いただいた個人情報 は古文書講座運営のためのみに使用します。

### 問合せ先

佐賀県立図書館 郷土資料調査・編さん課 (古文書講座担当)

TEL:0952-24-2900(17時まで)

メール:saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp